

2019 年度事業報告書

(2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日)

国際交流事業		
1	講演会等事業	ア) パク ジョンチェ講演会 (7/23) (世界の子どもの本講座の一環)
2	IBBY 支部としての活動	ア) 第 4 回 IBBY アジア・オセアニア地域大会 (9/26-28 西安) イ) 国際子どもの本の日キャンペーン (3 月) ウ) 日中韓 (IBBY 支部) 共同プロジェクト (新規) エ) 年会費の支払 (4 月) オ) スポンサーとの連携 カ) 来日関係者との懇談
3	国際賞への推薦事業	ア) IBBY オナーリスト (9 月) イ) プラチスラバ世界絵本原画展への推薦 (5 月) ウ) アストリッド・リンドグレーン記念文学賞 (5 月)
4	派遣・出展事業	国際アンデルセン賞国際選考委員
調査研究・情報提供事業		
1	図書展	ア) 世界の子どもの本展と講演会 (9 会場)
2	ブックリストの作成	ア) 「IBBY がすすめる世界の児童書 2018」(7 月) イ) 「世界のバリアフリー児童図書 2019」(3 月) ウ) 「おすすめ! 世界の子どもの本 2019」(11 月) エ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2020」(3 月) オ) 「Japanese Children's Books 2020」(3 月)
3	講座・研究会	ア) 新編集者講座 (5 回: 11 月～1 月) イ) 世界の子どもの本講座 (7 回: 7 月～1 月) ウ) 子どもの本の翻訳フォーラム (11 月) エ) ノンフィクションの子どもの本を考える会 (4 回: 6 月～2 月)
4	会報の発行	「Book & Bread」(年 4 回、6・9・12・3 月)
5	ウェブサイト	ホームページリニューアル / Facebook / Twitter / メールマガジン
7	協力事業ほか	ア) 子どもの読書推進会議 イ) BIB 世界絵本原画展 (国内巡回展) ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」 エ) 文部科学省「読書コミュニティ拠点形成支援事業」 オ) 群馬県太田市美術館・図書館 カ) 後援名義の提供 ほか
その他の事業		
1	イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	巡回展事務局業務 (国内 4 会場)
2	希望プロジェクト	ア) 支援活動 (野馬追文庫、一時保護所) イ) 募金活動 ウ) 学びの会 (4 回: 7 月～2 月)
3	フォーラム・子どもたちの未来のために	シンポジウムと特別講演会 (3 回: 7 月～3 月)
4	出展ほか	上野の森親子ブックフェスタ (5/3,4)
5	物販	講師の著作物、関連書籍等の販売など

【国際交流事業】

1. 国際講演会

ア) バク ジョンチュ講演会

韓国の絵本作家バク ジョンチュ氏の講演会を、JBBY 世界の子どもの本展の1回として行った。「子どもゆめ基金」助成活動。

演題	韓国の絵本作家バクジョンチュの新しい絵本の世界
日時	2019年7月23日(火)
会場	出版クラブビル(東京都)
講師	バクジョンチュ(韓国の絵本作家) 通訳: 申明浩 進行: 広松由希子
協力	大阪国際児童文学振興財団(講師の招へい)
参加者	54名

2. IBBY 支部としての活動

ア) IBBY アジア・オセアニア地域大会(隔年)

第4回 IBBY アジア・オセアニア地域大会が中国の西安で開催され、さくまゆみこ会長、野坂悦子理事が参加。JBBY の活動や紙芝居についての発表、日中韓共同プロジェクトの相談などを行った。

テーマ	子どもの読書と世界の未来
会期	2019年9月26日~28日
会場	西安シャングリラホテル
参加者	約200人(マレーシア、イラン、インドネシア、スリランカ、インド、カンボジア、ネパール、韓国、アフガニスタン、パキスタン、レバノン、タイ、日本ほか)

■ IBBY と地域大会

現在 IBBY には 81 の国と地域が加盟しており、隔年で開催される子どもの本の世界大会 (IBBY 世界大会) では、国際アンデルセン賞や IBBY 朝日国際児童図書普及賞の授与式のほか、総会や役員選挙などが行われる。数年前から、世界大会がない年に、地域ごとの大会も開催されるようになった。ヨーロッパ地域大会、ラテンアメリカ・カリビアン地域大会、アフリカ大会、アジア・オセアニア地域大会がある。アメリカ合衆国は、26 年前から独自に USBBY 大会を実施している。

イ) 国際子どもの本の日キャンペーン

「国際子どもの本の日」を記念し日本でも事業を行った。

(1) 世界共通ポスターとメッセージの発信

IBBY 各国支部が順番に作成するポスターとメッセージを日本語版にし、JBBY 会員のほか、全国の公共図書館や関連施設に配布した。

2020 年制作担当国	スロベニア
ポスター	絵: ダミャン・ステパンチチ
メッセージ	文: ベテル・スヴェティーナ
メッセージ翻訳	こだまともこ
日本語版ポスター	A2 サイズ、6,000 部

(2) 記念イベントの実施

子どもに本のよろこびを、大人にも子どもの本の大切さを伝えるため、「子どもの本の日フェスティバル」を例年どおり実施するため、会員からも広く企画を募って準備を進めたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いやむをえず、3月3日に中止を決定した。「子どもゆめ基金」助成活動。

催事名	2020 国際子どもの本の日 JBBY 子どもの本の日フェスティバル
日時	2020年3月21日(土)22日(日)
会場	ゲートシティ大崎ゲートシティホール、アトリウム(東京都)
後援	東京都教育委員会、品川区、品川区教育委員会、子どもの読書推進会議、出版文化産業振興財団、読書推進連動協議会、日本ベンクラブ
協力	ゲートシティ大崎管理組合、大崎エリアマネージメント、日産自動車株式会社
プログラム	展示: IBBY が選んだ世界の子どもの本/日中韓の子どもの本と、絵本作家からのメッセージ/JBBY のおすすめ本/IBBY バリアフリー児童図書ほか
	講演会: 富安陽子講演会/イ ヨンギョン講演会
	ワークショップ: 田中清代ワークショップ/絵本翻訳ワークショップ/科学あそびワークショップ/まめ本ワークショップ
	トーク・おはなし会: 翻訳家による世界おはなしの旅/おたのしみ♪おはなし会/バリアフリーのおはなし会/おはなし作りと作家トーク
	ステージ: あそびうた/わらべうた/紙芝居/パイオリン/人形劇ほか
	ビブリオバトル/子どもの本なんでも相談コーナー クイズ付「子どもの本の日パスポート」/子どもの本の本/富安陽子作品のなりきりコーナー

■ 国際子どもの本の日

IBBY は 1966 年に、アンデルセンの誕生日である 4 月 2 日を「国際子どもの本の日」と定め、各国で本を普及するイベントを奨励した。翌 67 年からは、IBBY 支部が交代に記念ポスターとメッセージを作成し、世界中に発信している。

ウ) 日中韓 (IBBY 支部) 共同プロジェクト (新規)

3 支部が、年に 2 回テーマを決めて 5 冊ずつ自国のおすすめ本を選ぶ。第 1 回のテーマは「環境」で、2020 年 1 月にウェブ上で発表 (以下の韓国と中国の書名はすべて仮題)。

韓国の本	『しばふのともだち』(풀친구, ウンジンジュニア)
	『ひがたせんそう』(갯벌전쟁, 모레알)
	『ヨナム川 野草の花束』(연남천 풀다발, 탈크림)
	『イノブタ君』(반점달이, 시гонジュニア)
中国の本	『宇宙への階段』(우주로 가는 계단, 챔피언)
	『年と男の子』(年和男孩, 中国少年兒童新聞出版總社)
	『ゴホンゴホン』(咳咳咳, 中国少年兒童新聞出版總社)
	『エヴェンキのヘラジカ』(鄂温克的驼鹿, 接力出版社)
日本の本	『鶴を育てる女の子』(牧鶴女孩, 江蘇鳳凰少年兒童出版社)
	『青雲谷の童話』(青云谷童話, 新蕾出版社)
	『はらべこゾウのうんち』(偕成社)
	『やんばるの少年』(童心社)
	『「牛が消えた村」で種をまく』(農山漁村文化協会)
『手塚マンガでエコロジー入門』(子どもの未来社)	
『ライチョウを絶滅から救え』(小峰書店)	

選書：さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、広松由希子
 原稿執筆：汐崎順子、土居安子、野上暁
 翻訳：王玉、神谷丹路、申明浩、李麗
 編集：さくまゆみこ、藤田隆広

10/7	国際アンデルセン賞受賞画家イーゴリ・オレイニコフ (ロシア)
------	--------------------------------

4. 国際賞への推薦

エ) IBBY 年会費の納入
 年会費 7,500 スイスフラン (=844,875 円) を納めた。IBBY の会費カテゴリーは、その支部の年間児童書出版点数を基準に決まる。

カテゴリー 1 (6 カ国)	中国、フランス、ドイツ、日本、イギリス、アメリカ合衆国
カテゴリー 2 (10 カ国)	オーストラリア、ベルギー、カナダ、イタリア、韓国、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、アラブ首長国連邦
カテゴリー 3 (2 カ国)	デンマーク、ノルウェー
カテゴリー 4 (10 カ国)	オーストリア、ブラジル、チェコ、フィンランド、インド、アイルランド、イスラエル、メキシコ、ポーランド、ロシア
カテゴリー 5 (8 カ国)	アルゼンチン、アイスランド、イラン、マレーシア、ニュージーランド、スロベニア、タイ、トルコ
カテゴリー 6 (11 カ国)	チリ、コロンビア、クロアチア、キプロス、エジプト、ギリシャ、ハンガリー、インドネシア、スロバキア、南アフリカ、ベネズエラ
カテゴリー 7 (9 カ国)	アゼルバイジャン、エクアドル、エストニア、ヨルダン、ラトビア、リトアニア、パキスタン、ペルー、ウクライナ
カテゴリー 8 (25 カ国)	アフガニスタン、アルバニア、アルメニア、ボリビア、カメルーン、カンボジア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ、エルサルバドル、ガーナ、グアテマラ、ハイチ、レバノン、モルドバ、モンゴル、ネパール、パレスチナ、ルワンダ、スリランカ、タンザニア、ウガンダ、ウルグアイ、ベトナム、ジンバブエ

オ) IBBY と日本のスポンサーとの連携協力
 連絡や交渉の中継や、会議の段取りをした。

IBBY 朝日国際児童図書普及賞	朝日新聞社
IBBY 山田プログラム (IBBY-Yamada Fund)	山田養蜂場

■ IBBY 朝日国際児童図書普及賞 (IBBY-Asahi Reading Promotion Award)
 1986 年に東京で、アジアで初めての IBBY 世界大会が開催された際、朝日新聞社が IBBY の活動に賛同して創設した賞。図書普及や識字活動で成果をあげた草の根運動の団体に贈られる。
 ■ IBBY 山田プログラム (IBBY-Yamada Fund)
 スマトラ島沖地震 (2004 年) に対し山田養蜂場から寄せられた支援金を元に 2005 年に発足した基金。その後も支援が継続され、すべての子どもが自由に本を読める世界をめざし、年間 8 ～ 10 回の草の根的なワークショップを助成する。

カ) 来日関係者との懇談会 (会場はいずれも JBBY 事務局)

7/5	KBBY (IBBY 韓国支部) シン ヒャンブン会長・キム ソジュン副会長
8/2	IBBY 朝日賞受賞者フィリップ・クロード夫妻 (フランス)

ア) IBBY オナーリストへの推薦 (隔年事業)
 国内選考会を実施し、2020 年 IBBY オナーリストに日本から推薦する作品と作家/画家/翻訳家を選んだ。

選考会：2019 年 9 月 4 日
 選考委員：さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、野上暁、広松由希子、福本友美子

文学作品部門	梨屋アリエ『きみの存在を意識する』(ポプラ社)
イラストレーション作品部門	たむらしげる『よるのおと』(偕成社)
翻訳作品部門	西村由美『青い月の石』(トンケ・ドラフト作、岩波書店)

■ IBBY オナーリスト
 IBBY が、1956 年から隔年で発行している世界的に権威のある児童書リスト。IBBY に加盟する国と地域が、ほかの国でも読んでほしいすぐれた子どもの本を選び推薦する。文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の 3 部門がある。各支部からの推薦作品はすべてリストに掲載される。

イ) ブラチスラバ世界絵本原画展への推薦 (隔年事業)

(1) 国内選考会を実施し、2019 年ブラチスラバ世界絵本原画展に日本から推薦する 15 人の画家と作品を選んだ。結果、10 月の国際選考において、きくちちき氏が『もみじのてがみ』で「金牌」を受賞した。
 選考会：2019 年 5 月 27 日
 選考委員：澤田精一、野上 暁、広松由希子、松本育子、松本 猛

荒井良二	『山のヨーナ』kanabou/akaoni
軽部武宏	『ばけバケツ』小峰書店
きくちちき	『もみじのてがみ』小峰書店
さかたきよこ	『金の鳥』BL 出版
ザ・キャンピカンパニー	『ボンボとヤージュ』学研プラス
シゲリカツヒコ	『大名行列』小学館
鳥野 雫	『おなかのなかで』『うずらかあさんとたまご』教育画劇
ズキコージ	『コーベッコー』BL 出版
田島征三	『わたしの森に』くもん出版
田島征彦	『やんばるの少年』童心社
田中清代	『くろいの』偕成社
たむらしげる	『よるのおと』偕成社
降矢なな	『やもじろうとはりきち』佼成出版社
みやこしあきこ	『ぼくのたび』プロンズ新社
ミロコマチコ	『まっくらやみのまっくら』小学館

(2) きくちちき氏の「金牌」受賞を祝い、在日スロバキア共和国大使館において贈賞式を行い、マリアン・トマーシク駐日スロバキア大使から、きくち氏へ賞状とトロフィーが手渡された。
 日時：2020 年 1 月 14 日
 場所：在日スロバキア共和国大使館 (東京都)

■ブラチスラバ世界絵本原画展

1965年にチェコスロバキアで設立された、隔年に開催される世界最大規模の絵本原画コンクール。ひとつの国から参加できる作家は15人なので、日本は、JBBYが国内選考会を行って出展作家と作品を選ぶ。グランプリ1名、金のりんご賞5名、金牌5名が選ばれる。

3/21-22	東京都	ゲートシティ大崎(子どもの本の日フェスティバル)	※新型コロナウイルス感染拡大のため中止
---------	-----	--------------------------	---------------------

▼展示された日本の本

国際アンデルセン賞受賞 角野栄子代表作品	『魔女の宅急便』『魔女に会った』『トラベッド』(以上 福音館書店)、『チキチキチキキいそいでいそいで』(あかね書房)、『トンネルの森 1945』(KADOKAWA)
IBBY オナーリスト・日本の文学作品	『フラダン』(古内一絵 著、小峰書店)
同・日本のイラストレーション作品	『ドームがたり』(スズキコージ 絵、アーサー・ビナード 文、玉川大学出版部)
同・日本の翻訳作品	『お静かに、父が昼寝しております』(母袋夏生 訳、岩波書店)

■アストリッド・リンドグレン記念文学賞

『長くつ下のピッピ』で知られるスウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレンの功績を記念し、スウェーデン政府が2002年に創設した国際的な賞。子どもの本の作り手や、子どもの本の普及に貢献した人・団体を対象とする。日本で推薦権を有するのは、JBBYと大阪国際児童文学振興財団、日本図書館協会、荒井良二氏(2005年受賞者)。

5. 派遣・出展事業

2020年国際アンデルセン賞国際選考委員に、土居安子氏(大阪国際児童文学振興財団総括専門員)を派遣した。

【調査研究・情報提供事業】

1. 図書展

ア) 世界の子どもの本展と巡回講演会

2018年IBBYオナーリストに選ばれた61の国と地域、50言語191作品と、2018年国際アンデルセン賞受賞者(作家賞角野栄子氏、画家賞イーゴリ・オレイニコフ氏)の作品を8会場で展示した。各会場では、JBBY翻訳者による展示図書を紹介する講演会「世界の子どもの本はこんなに面白い!」を実施した。参加者のべ282人。「子どもゆめ基金」助成活動。

2019 8/6~9/8	東京都	国立国会図書館国際子ども図書館	
10/1 ~11/12	東京都	出版クラブビル(クラブライブラリー)	10/1 記者会見 11/7,12 リレー講演会(さくまゆみこ・おおつかのりこ・大作道子・若松宣子・片桐早織・野坂悦子・宇野和美・木村有子・南平かおり・河野万里子・愛甲恵子)
11/16 ~12/1	群馬県	太田市美術館・図書館	
12/17 ~28	千葉県	流山市立中央図書館	12/21 講演会(河野万里子)
2020 1/14~24	宮城県	気仙沼市立気仙沼小学校	1/18 講演会(さくまゆみこ・愛甲恵子)
2/1~16	奈良県	奈良県立図書情報館	2/16 講演会(南平かおり・野上暁)
2/22 ~3/8	大阪府	大阪府立中央図書館	2/23 講演会(木村有子・土居安子) ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止
3/12~17	愛知県	豊橋市南栄住宅集会所	3/14 講演会(宇野和美・おおつかのりこ)

2. ブックリストの作成

ア) 「IBBYがすすめる世界の児童書(国際アンデルセン賞とIBBYオナーリスト2018)」

IBBYが発行した「IBBY Honour List 2018」の邦訳に、2018年国際アンデルセン賞受賞者の情報を付加して発行した。世界の子どもの本展の図録としても活用した。

AB版/64ページ/4色	
発行日	2019年7月25日
翻訳	大作道子、大塚典子、和田直
協力	宇野和美、片桐早織、神谷丹路、川辺剛彦、河野万里子、那須田淳、南平かおり、野坂悦子、母袋夏生、国立国会図書館国際子ども図書館、各国大使館
監修	こだまともこ、さくまゆみこ
協賛	日産自動車

イ) 「世界のバリアフリー児童図書(IBBYによる2019年選定図書)」

IBBYが発行した「IBBY Outstanding Books for Young People with Disabilities 2019」の翻訳版を発行した。

AB版/32ページ/4色	
発行日	2020年3月20日
編集	JBBY「世界のバリアフリー児童図書展」実行委員会、川辺剛彦
翻訳	板谷ひさ子、攪上久子

ウ) 「おすすすめ!世界の子どもの本2019」

日本で翻訳出版された海外の児童書ブックガイド。絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計69冊を紹介。翻訳家の宇野和美・こだまともこ両氏のエッセイ、2018年国際アンデルセン賞受賞画家イーゴリ・オレイニコフ氏のメッセージ、各国の児童文学賞の受賞作情報を掲載した。「おすすすめ!日本の子どもの本2019」とともに、全国の公共図書館に配布した。

AB版/24ページ/4色	
発行日	2019年11月17日
選書・執筆	さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、福本友美子

表紙画	スズキコージ
編集協力	梓澤設夫
協賛	日本児童教育振興財団、ポプラ社

▼2019年版掲載図書(69冊)

◎絵本	
『あかちゃんがどんぶらこ!』徳間書店	『オーロラの国の子どもたち』福音館書店
『カタカタカタ』ほるぷ出版	『このねこ、うちのねこ!』徳間書店
『スタンリーとちいさな火星人』あすなろ書房	『せん』岩波書店
『ソフィーとちいさなおともだち』光村教育図書	『だいきライオンさん』フレーベル館
『たったひとつのドングリが』評論社	『チトくんとにぎやかないちば』徳間書店
『とってもなまえのおおいネコ』評論社	『ねむりどり』フレーベル館
『ふしぎなしっぽのねこカティンカ』徳間書店	『もりのたんじょうびパーティー』岩波書店
『いっしょにかえろう』岩崎書店	『ウルスリのすず』岩波書店
『おおかみのおなかのなかで』徳間書店	『きのうをみつきたい!』徳間書店
『子ネコのスワン』BL出版	『ねずみのマウリッツ』文化出版局
『かあちゃんのジャガイモばたけ』評論社	『この計画はひみつです』鈴木出版
『ジャーニー 国境をこえて』きじとら出版	『ダム』評論社
『ふたりママの家で』サウザンブックス	『わたしたちだけのときは』岩波書店
◎読みもの	
『イースターのたまごの木』徳間書店	『クリスマスの女の子』徳間書店
『クリスマスのあかり』福音館書店	『ホイホイとフムフム』ほるぷ出版
『子ぶたのトリュフ』さ・え・ら書房	『長くつ下のピッピ』岩波書店
『パイパーさんのバス』徳間書店	『野生のロボット』福音館書店
『青い月の石』岩波書店	『明日のランチはきみと』フレーベル館
『あたしが乗った列車は進む』鈴木出版	『海辺の町の怪事件』評論社
『風がはこんだ物語』あすなろ書房	『熊とにんげん』徳間書店
『ケンタウロスのポロス』岩波書店	『ジュリアが糸をつむいだ日』徳間書店
『ソロモンの白いキツネ』あすなろ書房	『トンネルの向こうに』小学館
『願いごとの樹』偕成社	『変化球男子』鈴木出版
『ぼくがスカートをはく日』学研プラス	『カーネーション・デイ』ほるぷ出版
『その魔球に、まだ名はない』あすなろ書房	『サイド・トラック』評論社

『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ』岩崎書店	『泥』小学館
『ヒトラーと暮らした少年』あすなろ書房	『フローラ』小学館
『列車はこの闇をぬけて』徳間書店	
◎ノンフィクション	
『いろいろななかぞくのほん』少年写真新聞社	『「いたっ!」がうんだ大発明』光村教育図書
『ゴッホの星空』ほるぷ出版	『ホッキョクグマ』BL出版
『モンゴル大草原800年』福音館書店	『エマおばあちゃん、山をいく』廣済堂あかつき
『キース・ヘリング』評論社	『きみは宇宙飛行士!』偕成社
『しぜんのかたち せかいのかたち』BL出版	『ショッキングピンク・ショック!』フレーベル館
『母が作ってくれたすごろく』徳間書店	『フェルメール』西村書店
『私はどこで生きていけばいいの?』西村書店	『アンネのこと、すべて』ポプラ社

エ)「おすすめ!日本の子どもの本2020」
海外で紹介したい日本の子どもの本ブックガイド。絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計81冊を紹介。

AB版/24ページ/4色	
発行日	2020年3月25日
選書・執筆	さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、広松由希子
表紙画	きくちちき
編集協力	梓澤設夫
協賛	日本児童教育振興財団、ポプラ社

▼2020年版掲載図書(81冊)

◎絵本	
『あつあつ』福音館書店	『あまがえるのかくれんぼ』世界文化社
『いないいないばあさん』偕成社	『おろろんおろろん』偕成社
『かいちゅうでんとう』福音館書店	『かたつむりタクシー』福音館書店
『くろいの』偕成社	『ごろべえもののけのくにへいく』童心社
『しょうぎはじめました』文研出版	『なっちゃんのみつ』福音館書店
『ばんつさん』ポプラ社	『へいわとせんそう』ブロンズ新社
『まぼろしえほん』鈴木出版	『まめつぶごぞうバトゥフェ』BL出版
『まるのおうさま』福音館書店	『もみじのてがみ』小峰書店
『お正月がやってくる』ポプラ社	『金の鳥』BL出版
『空想化石はくぶつかん』城西大学出版会	『こんとん』偕成社
『タコやん』福音館書店	『ちいさな島のおおきな祭り』新日本出版社

『どうぶつ ABC えほん』のら書店	『なんげえはなしっこしかへがな』BL 出版
『ぼくのたび』ブロンズ新社	『ミツ』佼成出版社
『やましたくんはしゃべらない』岩崎書店	『やんばるの少年』童心社
『ライオンの風をみたいちち』佼成出版社	
◎読みもの	
『おばあちゃんのわすれもの』のら書店	『カイとティム よるのぼうけん』アリス館
『クルルちゃんとコロロちゃん』出版ワークス	『あららのはたけ』偕成社
『徳治郎とボク』理論社	『ねこのこぶじさん』アリス館
『ねこの小児科医ローベルト』偕成社	『八月のひかり』汐文社
『月の珊瑚』講談社	『いつか太陽の船』新日本出版社
『ヴァンダーカンマー』理論社	『風と行く者』偕成社
『きみの存在を意識する』ポプラ社	『つくられた心』ポプラ社
『天使のにもつ』童心社	『夏に泳ぐ緑のクジラ』小学館
『星の旅人』小峰書店	『ゆかいな床井くん』講談社
『キャプテンマークと銭湯と』KADOKAWA	『この川のむこうに君がいる』理論社
『部長会議はじまります』朝日学生新聞社	『むこう岸』講談社
『moja』講談社	
◎ノンフィクション	
『うまれたよ！ナナフシ』岩崎書店	『ほうさんちゅう』アリス館
『あずき』福音館書店	『石はなにからできています？』岩崎書店
『イワシ』福音館書店	『うみどりの鳥』偕成社
『スズメのくらし』福音館書店	『そらのうえのそうでんせん』アリス館
『つらら』ポプラ社	『ナマコ天国』偕成社
『ハエトリグモ』ポプラ社	『アリになった数学者』福音館書店
『おしえて フクロウのみみつ』子どもの未来社	『火山はめざめる』福音館書店
『切る道具』フレーベル館	『草木とみた夢』出版ワークス
『車いすの図鑑』金の星社	『なまはげ』ポプラ社
『日本カエル探検記』少年写真新聞社	『はらべこゾウのうんち』偕成社
『ヒロシマ消えたかぞく』ポプラ社	『太陽ってどんな星？』新日本出版社
『平和のバトン』くもん出版	『モスクへおいでよ』小峰書店
『ライチョウを絶滅から救え』小峰書店	『ギヴ・ミー・ア・チャンス』講談社
『天皇制ってなんだろう？』平凡社	『虫ざらいはなおるかな？』理論社

『めんそーれ！化学』岩波書店	
----------------	--

オ)「Japanese Children's Books 2020」(海外向け英文ブックリスト)

上記「おすすめ！日本の子どもの本 2020」の英語版の準備を進めた。新型コロナの感染拡大により、発行は 2020 年度に持ち越した。

選書・執筆委員	さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、広松由希子
英語翻訳	岩淵デボラ、宇田川エイヴリ、竹森ジニー、平野キャシー
表紙画	さくちちき
協賛	日本児童教育振興財団、ポプラ社

3. 講座・研究会

ア) JBBY 新・編集者講座 第 5 期 (全 5 回)

若手児童書編集者にとっての学びの場、子どもの本の未来を創る次世代の交流の場を目指し、新・編集者講座第 5 期を実施した。今年度の全体テーマは「これからの児童書を支える力とは？」

参加者のべ 360 人。会場協力：偕成社

11/18 (月)	マイケル・ノイゲバウアー「世界中の子どもたちの心をつかむ秘訣とは？」
11/27 (水)	大澤滯子・山中かおり「本好きな子どもを増やせ！学校図書館の挑戦」
12/5 (木)	石川郁子「世界が注目！中国の絵本事始めと現在・未来」
2020/1/16 (木)	坂川栄治「6000 冊を超える仕事のなかで見てきた真理とは？」
1/23 (木)	筒井大介「絵本作りの極意とは？」

イ) JBBY 世界の子どもの本講座 (全 7 回)

2018 年度の「国際アンデルセン賞講座」の名称を改めた連続講座。国際アンデルセン賞をはじめ、世界の子どもの本に関する講座を 7 回実施した。会場はいずれも出版クラブビル(東京都)。参加者のべ 486 人。「子どもゆめ基金」助成活動。

7/23 (火)	バクジョンチェ「韓国の絵本作家バクジョンチェの新しい絵本の世界」 通訳：申明浩 進行：広松由希子
9/4 (水)	土居安子「富安陽子の人と作品」
10/17 (木)	福本友美子「国際アンデルセン賞画家賞・海外の受賞者とその作品から」
10/27 (日)	富安陽子(国際アンデルセン賞候補)「物語が生まれる時」
11/6 (水)	さくまゆみこ「国際アンデルセン賞作家賞・海外の受賞者とその作品から」
12/1 (日)	菱木晃子・松原あやか「アストリッド・リンドグレンが遺したもの」
2020/1/25 (土)	松岡享子「国際アンデルセン賞と子どもの本」聞き手：さくまゆみこ

ウ) JBBY 子どもの本の翻訳フォーラム

子どもたちには、日本の作家による創作と並んで、異なる視点で描かれた海外の本も必要だという考えから翻訳児童書に関するフォーラムを開催。今年のテーマは「絵本の翻訳」。

参加者 145 人。「子どもゆめ基金」助成活動。

日時	2019 年 11 月 17 日
場所	出版クラブビル（東京都）
パネリスト	神谷丹路、木村有子、福本友美子、宇野和美（進行役）

エ) 小規模勉強会（NF の子どもの本を考える会）
 会員主体で、4 回実施した。参加者のべ 115 人。会場協力：ポプラ社

6/12（水）	テーマ：アンネ・フランク 講師：石岡史子・小林エリカ
10/15（火）	テーマ：月の満ちかけ
12/11（水）	テーマ：アジア・太平洋戦争—大陸でおきていたこと
2020/2/27（木）	テーマ：私のイチオン！科学の本

4. 会報の発行

会報「Book & Bread」を 4 回発行した。

139 号	表紙画：長野ヒデ子 インタビュー：小林豊 巻末エッセイ：安東みきえ
140 号	表紙画：西村繁男 インタビュー：矢玉四郎 巻末エッセイ：梨屋アリエ
141 号	表紙画：手島圭三郎 インタビュー：富安陽子 巻末エッセイ：戸森しるこ
142 号	表紙画：国際子どもの本の日ポスター（ダミャン・ステバンチチ） インタビュー：きくちちき 巻末エッセイ：田中清代
仕様	B5 版、36 頁 印刷：図書印刷株式会社
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、出版文化産業振興財団、小学館、大日本印刷、東京印書館、図書印刷、凸版印刷、童心社
編集委員	赤石忍、喜入今日子、田中明子、田中秀治、堤嘉代、那須奈美子、野上暁、松井紀美子、松岡由紀、山森健太郎

5. ウェブサイトなどによる広報

ホームページのリニューアル、非会員向けのメールマガジン新設、Facebook や Twitter の改善など、委員会をたちあげ積極的に取り組んだ。

ホームページ	https://jbby.org/
Facebook	https://fb.com/jbby.org/
twitter	https://twitter.com/jbbypi

6. 協力事業（他団体との連携・協力）

ア) 子どもの読書推進会議
 民間の読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」の構成団体として協力した。
 構成団体（順不同）：読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団（JPIC）、日本児童出版美術家連盟（童美連）、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY

イ) プラチスラバ世界絵本原画展（国内巡回展）
 読売新聞社美術館連絡協議会と各開催館が主催する巡回展に協力した。（2018 年度からの継続事業）

2018/7/21～9/9	福岡県	久留米市美術館
10/6～12/2	奈良県	奈良県立美術館
2019/1/20～3/3	千葉県	千葉市美術館
3/23～5/12	栃木県	小杉放菴記念日光美術館
7/13～8/28	埼玉県	うらわ美術館

ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」
 喜入今日子・藤田隆広両理事が、第 3 回 ミツバチの絵本コンクールに審査員として協力した。

エ) 文部科学省「読書コミュニティ拠点形成支援事業」
 事務局長が、全国の自治体に委託して、学校・図書館・読書ボランティア団体等によるネットワークの構築を促す事業に協力した。

オ) 群馬県太田市美術館・図書館（群馬県）
 事務局長が、運営委員として協力した。

カ) 後援事業

全国	アンデルセンのメルヘン大賞	アンデルセン・バン生活文化研究所
全国	JPIC 読書アドバイザー養成講座	出版文化産業振興財団
全国	日産 童話と絵本のグランプリ	大阪国際児童文学振興財団 日産自動車
全国	いたばし国際絵本翻訳大賞	板橋区ほか
全国	ミツバチの絵本コンクール	山田養蜂場
世界	ミツバチの一枚画コンクール	山田養蜂場
巡回展	せなけいこ展	横須賀美術館／刈谷市美術館／阪急うめだギャラリー
北海道	けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展	剣淵町絵本の館
新潟県	絵本ワールド in にいがた	新潟日报社
富山県	とやま元気ワールド 絵本ランド	富山新聞社
長野県	グリム童話のメルヘン旅行記	軽井沢絵本の森美術館
東京都	ショーン・タンの世界展 ちひろが描いた日本の児童文学	ちひろ美術館・東京
東京都	ちひろさんの子どもたち	ちひろ美術館・東京
東京都	ふたりの女の物語 都とちひろ	ちひろ美術館・東京
東京都	シンポジウム「子どもの本の翻訳」	日本ペンクラブ・子どもの本委員会
東京都	没後 10 年 瀬川康男展	ちひろ美術館・東京
東京都	シンポジウム「子どもたちの未来、子どもの本の未来」	日本ペンクラブ・子どもの本委員会

東京都	上野の森親子ブックフェスタ	子どもの読書推進会議ほか
東京都	降矢なな絵本原画展	教文館
東京都	ポーロニャ・ブックフェア in いたばし	板橋区ほか
神奈川県	西巻茅子展	神奈川近代文学館
静岡県	ユニバーサルデザイン絵本コンクール	静岡文化芸術大学
山口県	生誕 110 年まど・みちお展	周南市美術博物館
愛媛県	長野ヒデ子絵本原画展	八幡浜市民ギャラリー

【その他の事業】

1. イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展

イタリアのポーロニャ・ブックフェアで開催される「イラストレーター展」の入選作品を紹介する国内巡回展「2019 イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展」の事務局を務めた。4会場で実施した。

6/29～8/12	東京都	板橋区立美術館
8/17～9/23	兵庫県	西宮市大谷記念美術館
11/1～12/8	石川県	石川県七尾美術館
12/14～2020/1/19	群馬県	太田市美術館・図書館

2. JBBY 希望プロジェクト

IBBY のチルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通じた支援活動を行った。

ア) 支援活動

(1) 野馬追文庫

東日本大震災後、放射能被害の不安が続く福島県南相馬市の施設等へ毎月 11 日に本を送った。「子どもたちへくあしたの本」プロジェクトからの継承事業。2019 年 7 月で、毎月の定期送付を終え、その後は季節毎（年 4 回）に送ることになった。協力：ジネット

4 月	6 施設へ数冊ずつ寄贈
5 月	5 施設へ数冊ずつ寄贈
6 月	4 施設へ数冊ずつ寄贈
7 月	4 施設へ数冊ずつと、ぐるーぶ・もこもこ制作の布絵本・布遊具を寄贈
11 月	季節の本 15 冊を寄贈
2020 年 3 月	季節の本 11 冊を寄贈

(2) その他の支援活動

浜児童相談書一時保護所（福島県いわき市）	35 冊を寄贈
福島県立図書館『はしれディーゼル機関車デーデ』原画展』と講演会	協賛（講演会は、新型コロナウイルス感染拡大により中止）

(3) 少年院ライブラリー

鑑別所・少年院や保護施設などで利用できるブックリストの制作に着手した。

イ) 募金活動

困難な状況にある子どもの支援活動に限定した使途特定寄付金を募った。2019 年度は 200,510 円の寄付が集まった。収支残金は、積立金として次年度に繰り越した。

募金口座
ゆうちょ銀行 〇一八（ゼロイチハチ）支店
普通 2477506
名義：ニホンコクサイジドウトシヨヒョウギカイ

ウ) 学びの会（全 4 回）

支援を有意義なものにするため、子どもたちが直面している困難の実情を学ぶ学習会を 4 回実施した。会場はいずれも出版クラブビル（東京都）。参加者のべ 251 人。「子どもゆめ基金」助成活動。

7/15（月祝）	茂木健司「一時保護される子どもたち」
10/5（土）	大塚敦子・町田りん「動物、そして絵本が開く心の扉——少年院での実践から」
12/14（土）	幸重忠孝「今、必要とされるまちの子どもソーシャルワーク——貧困・虐待・いじめ、居場所を求める子どもたち」
2020/2/15（土）	星野弥生「ふくしまっこリフレッシュ in 世田谷——放射線被害から子どもを守るために私たちにできること」

■ JBBY 希望プロジェクト

東日本大震災後、子どもに関わる複数の団体が立ち上げた「子どもたちへくあしたの本」プロジェクト；2011-2016 で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目を向け、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBY が 2017 年に発足。

3. フォーラム・子どもたちの未来のために

「フォーラム・子どもたちの未来のために」に参加し、他団体とともにシンポジウムと特別講演会を 3 回実施した。

7/13（土）	シンポジウム in 京都「私たちの時代・私たちの表現」中島京子、ひこ・田中、あさのあつこ、長谷川義史、令丈ヒロ子
2020/2/1（土）	シンポジウム「私たちの時代・私たちの表現」森絵都、古内一絵、小手鞠い、野上暁
3/25（水）	特別講演会「子どもたちが危ない！—日本の教育はどこに向かっているのか」前川喜平 ※新型コロナ感染拡大により中止

■ フォーラム・子どもたちの未来のために

「特定秘密保護法」や一連の「安保法案」が、子どもたちの未来を危うくするものと受け止め、子どもの本に携わる出版社、作家、画家、翻訳家、研究者など各方面の団体が危機感を共有して 2013 年に結成した連絡組織。会員への強制力はなく、勉強会を実施することで問題意識の拡大を図る。構成団体：絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作権者の会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会、JBBY。
<https://www.f-kodomotachinimirai.com/>

4. 出展ほか

ア) 上野の森親子ブックフェスタ

会期：2019年5月3日～5日

主催：子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会、出版文化産業振興財団

「JBBY 翻訳者・翻訳書ブース」を出展し、「おすすめ！世界の子どもの本 2018」に掲載した本を販売、サインに応じた。

出展日	2018年5月3日・4日
参加翻訳者	宇野和美、大作道子、かみやにじ、櫛田理恵、齋藤倫子、中野怜奈、野坂悦子、さくまゆみこ、こだまともこ、市川雅子、おおつかのりこ、中井はるの、原田勝、福本友美子（順不同）

5. 物販

展覧会や講演会等開催時に、カタログ、講師の著作物、関連書籍等を販売した。

【組織・その他】

1. 総会・理事会等の開催

4/17	第1回理事会	出席 11 名 定款の修正について／役員選任について／2018 年度決算について／総会について ほか
6/6	第2回理事会	出席 14 名 役員選任について／2018 年度決算について／2019 年度事業計画について／後期子どもゆめ基金について／事業委員会について／求人について／BIB 国内選考会報告 ほか
6/24	第3回理事会	出席 15 名 総会について ほか
6/15	第49 回定時総会	2018 年度事業報告と決算報告／2019 年度事業計画と予算案／定款の変更／役員を選任 ※懇親会
6/24	第4回理事会（新理事）	出席 12 名 会長・副会長の選任について
7/11	第5回理事会	出席 10 名 JBBY の年間計画と委員会について／「フォーラム子どもたちの未来のために」について／児童書の中の兵器等の扱いについて ほか
8/2	第6回理事会	出席 13 名 職員採用について／2019 年度事業進捗／ホームページの改修について／会員ボランティア制度についてほか

9/12	第7回理事会	出席 14 名 就業規則見直しについて／会員ボランティア制度について／世界の子どもの本展内覧会と記者会見について／ホームページ改修について／会報新体制について／山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」審査員派遣について／IBBY オナーリスト選考会報告／IBBY 世界大会（2020 年 9 月、ロシア）について ほか
11/7	第8回理事会	出席 13 名 就業規則について／2019 年度事業進捗／2020 年度子どもゆめ基金の申請について／日中韓（IBBY 支部）共同プロジェクトの新設について ほか
2020 1/21	第9回理事会	出席 12 名 2019 年度事業進捗／子どもの本の日フェスティバルについて／会報について／IBBY パリアフリー図書の選考について／2020 年度子どもゆめ基金の申請報告／BIB 贈賞式報告／田島征三氏国際アンデルセン賞ショートリスト ほか
3/11	第10回理事会	出席 14 名 2019 年度事業進捗／収支途中報告／2020 年度予算案について／三六協定について／上野の森親子ブックフェア出展について ほか

2. 役員

会長	さくまゆみこ（翻訳家）
副会長	宇野和美（翻訳家）
副会長	野上暁（日本ペンクラブ常務理事、東京純心大学客員教授）
専務理事	吉田幸司（講談社第六事業局 新事業チーム担当部長 兼 ライツ・メディアビジネス事業局 国際ライツ事業部担当部長）
理事	赤石忍（元編集者）
理事	喜入今日子（小学館第二児童学習局編集長）
理事	汐崎順子（研究者）
理事	代田知子（三芳町立図書館長）
理事	土居安子（大阪国際児童文学振興財団総括専門員）
理事	野坂悦子（翻訳家、紙芝居文化の会海外統括委員）
理事	濱野京子（作家）
理事	廣松英樹（福音館書店専務取締役）
理事	広松由希子（絵本の評論、文、翻訳、展示企画）
理事	藤田隆広（偕成社編集部）
理事	吉野万理子（作家）
監事	柏原順太（小学館第二児童学習局エキスパートプロデューサー）
監事	村山隆雄（聖徳大学教授）

3. 委員会図

理事会 会長 さくま 副会長 野上 宇野 専務理 吉田	企画事業委員会 委員長 野上	国際子どもの本の日／世界の子どもの本展／バリアフリー児童図書展／ポローニャ国際絵本原画展／新編集者講座／世界の子どもの本講座／翻訳フォーラム／小規模勉強会／希望プロジェクト／フォーラム・子どもたちの未来のために／上野の森ブックフェスタ
	国際委員会 委員長 宇野	IBBY 世界大会／国際賞（国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト・IBBY バリアフリー図書・BIB ほか）／情報発信（海外→日本、日本→海外）
	広報委員会 委員長 吉田	ホームページ／SNS（Twitter, Facebook など）
	編集出版委員会 委員長 さくま	会報 Book & Bread／ブックリスト（「おすすめ！日本の子どもの本」「おすすめ！世界の子どもの本」）／IBBY ブックリストの日本語版
	財務委員会 委員長 廣松	

【プロジェクトに関わってくださった会員】（順不同）

国際講演会（バクジョンチェ）	申明浩 土居安子 広松由希子 岩波書店
IBBY アジア・オセアニア大会	さくまゆみこ 野坂悦子
国際子どもの本の日	広松由希子 土居安子 野坂悦子 中島尚子 松本育子 上地史人 こだまともこ 濱野京子 安東みきえ 戸森しるこ 吉野万理子 池田ゆみる 宇野和美 中野怜奈 若松宣子 前沢明枝 木村有子 かみやにじ 原田勝 河野万里子 さくまゆみこ 代田知子 汐崎順子 神保和子 二階堂恵理 市川雅子 攪上久子 林左和子 横山純子 申明浩 田中清代 長野ヒデ子 宮崎詞美 田辺晴子 滝田恵子 片桐早織 滝井なみき 松井紀美子 町田りん 齋藤紀子 板谷ひさ子 池上榮 三田村慶春 田中秀行 八木恭子 大作道子 笹岡智子 植田美津子 上野直子 梅野愛子 おおつかのりこ
日中韓（IBBY 支部）プロジェクト	さくまゆみこ 藤田隆広 汐崎順子 土居安子 野上暁 広松由希子 王玉 神谷丹路 申明浩 李麗
推薦事業	さくまゆみこ 代田知子 神保和子 土居安子 野上暁 広松由希子 福本友美子 澤田精一 松本育子 松本猛 前沢明枝 依田和子
世界の子どもの本展・講演会	野坂悦子 土居安子 野上暁 さくまゆみこ おおつかのりこ 大作道子 若松宣子 片桐早織 宇野和美 木村有子 南平かおり 河野万里子 愛甲恵子 赤石忍 安森由利子
ブックリスト	こだまともこ さくまゆみこ 大作道子 おおつかのりこ 和田直 川辺剛彦 宇野和美 片桐早織 神谷丹路 河野万里子 那須田淳 南平かおり 野坂悦子 佐藤毅彦 攪上久子 板谷ひさ子 代田知子 神保和子 土居安子 福本友美子 汐崎順子 野上暁 広松由希子 梓澤設夫 鈴木千歳 須藤健 村田はるせ 愛甲恵子 脇本美穂 よこのなな 木村有子
新編集者講座	喜入今日子 藤田隆広 吉田幸司 野上暁 大澤倫子 山中かおり 石川郁子 偕成社
世界の子どもの本講座	代田知子 汐崎順子 中野怜奈 野上暁 前沢明枝 神保和子 申明浩 広松由希子 土居安子 福本友美子 さくまゆみこ 松岡享子 松原あやか
子どもの本の翻訳フォーラム	宇野和美 斎藤倫子 中野怜奈 神谷丹路 木村有子 福本友美子
NF の子どもの本を考える会	藤田隆広 小原解子 おおつかのりこ さくまゆみこ 中島尚子 長友恵子 二階堂恵理 ポプラ社
会報	赤石忍 田中秀治 喜入今日子 田中明子 堤嘉代 那須奈美子 野上暁 松井紀美子 松岡由紀 山森健太郎 長野ヒデ子 小林豊 安東みきえ 西村繁男 梨屋アリエ 手島圭三郎 戸森しるこ 田中清代
ウェブサイト・SNS	吉田幸司 吉野万理子 野坂悦子 宇野和美
ポローニャ国際絵本原画展	松岡希代子 森泉文美

希望プロジェクト	濱野京子 宇野和美 大塚敦子 攪上久子 金澤ますみ さくまゆみこ 中島尚子 野坂悦子 町田りん 村中李衣 柳沼志津子 野上千恵子 笹岡智子
フォーラム子どもたちの未来のために	濱野京子 赤石忍 野上暁 大竹永介 垂石眞子 那須田淳
上野の森親子ブックフェスタ出展	宇野和美 大作道子 かみやにじ 榊田理恵 齋藤倫子 中野怜奈 野坂悦子 さくまゆみこ こだまともこ 市川雅子 おおつかのりこ 中井はるの 原田勝 福本友美子
外部事業への協力（審査員など）	土居安子 さくまゆみこ 喜入今日子 藤田隆広 鳥塚尚子

会員

(2020年5月30日現在)

【会員数】

名誉会員		12
正会員	個人	422
	法人（団体会員）	53
賛助会員	個人	54
	法人	7

・2017年度より個人賛助会員は募集を打ち切りました

■ 名誉会員

安野光雅 猪熊葉子 松居直

(以下故人) 石井桃子 太田大八 小河内芳子 島多代 高橋健二 中川正文 藤田圭雄 まど・みちお 渡辺茂男

■ 団体会員

アトリエニキティキ 射水市絵本文化振興財団 岩崎書店 いわさきちひろ記念事業団 岩波書店 ヴィアックス 大阪国際児童文学振興財団 オフィス303 偕成社 学研プラス KADOKAWA カレルチャベック 紀伊國屋書店 教育画劇 共同印刷 教文館 金の星社 くもん出版 佼成出版社 講談社 こぐま社 小峰書店 至光社 集英社 小学館 少年写真新聞社 白百合女子大学図書館 精興社 大日本印刷 大日本図書 武田学園晴山幼稚園 チャイルド本社 東京図書館 童心社 図書印刷 図書館流通センター 凸版印刷 日本出版クラブ BYSENT 白泉社 BL出版 PHP 研究所（東京本部）福音館書店 富山房 フレーベル館 ブロンズ新社 文化出版局 文研出版 ポプラ社 山田昌幸税理士事務所 ラボ教育センター 理論社 ワールドライブラリー

■ 賛助会員（法人）

アンデルセン・バン生活文化研究所 株式会社こどものとも 株式会社電通 日産自動車株式会社 日本通運株式会社関東美術品支店 株式会社博報堂 株式会社山田養蜂場

【会員数変遷】

	個人	団体	賛助（個人）	賛助（法人）
2020年5月	422	53	54	7
2019年	384	62	59	7
2018年	378	59	74	7
2017年	373	47	82	7
2016年	375	51	89	7
2015年	419	51	78	6
2014年	404	50	57	6
2013年	403	46	40	9
2012年	426	49	39	10

	個人	団体	賛助（個人）	賛助（法人）
2011年	436	51	26	10
2010年	516	55	24	13
2009年	514	50	10	12
2008年	572	52		17

【個人会員地域別分布】

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	7	新潟	2	鳥取	2
青森	0	石川	0	島根	1
岩手	2 (+1)	富山	1	山口	2 (-1)
宮城	2	福井	3	徳島	1
秋田	1	岐阜	3 (+1)	愛媛	1
山形	0	静岡	8 (+1)	香川	1 (-1)
福島	2 (+1)	愛知	14 (+2)	高知	0
茨城	5	三重	3	福岡	2
栃木	3	滋賀	2	佐賀	0
群馬	3	京都	7 (+2)	長崎	3
埼玉	25 (+7)	大阪	10 (+3)	熊本	2
千葉	23 (+2)	兵庫	11	大分	3
東京	191 (+14)	奈良	3	宮崎	0
神奈川	55 (+3)	和歌山	1	鹿児島	1
山梨	0	岡山	3 (+1)	沖縄	4 (+1)
長野	9	広島	2	海外	9

【専門分野別分布】

作家・創作・ライター	63 (+3)	図書館・文庫・読書普及活動	79 (+6)
画家・絵本作家・イラストレーター・写真・デザイン	41 (+3)	美術館・博物館・展示企画	8
翻訳・通訳	77 (+4)	書店	14 (-1)
出版・編集・著作権関係	35 (+3)	マスコミ	4
研究・評論	64 (+4)	学生	1
教育関係	74 (+4)		